

鞠智城跡の調査と成果

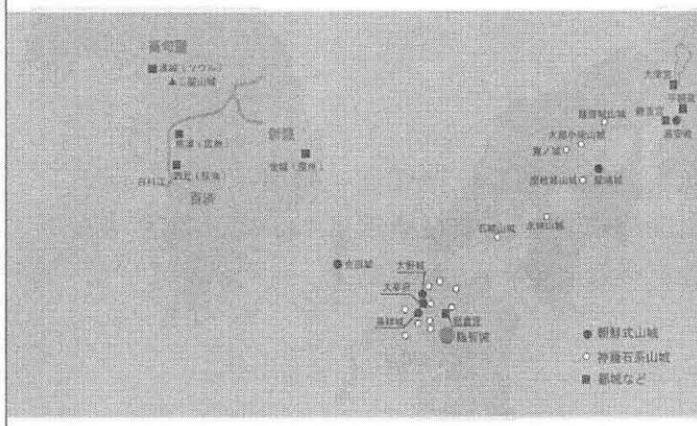
能登原孝道（歴史公園鞠智城・温故創生館）



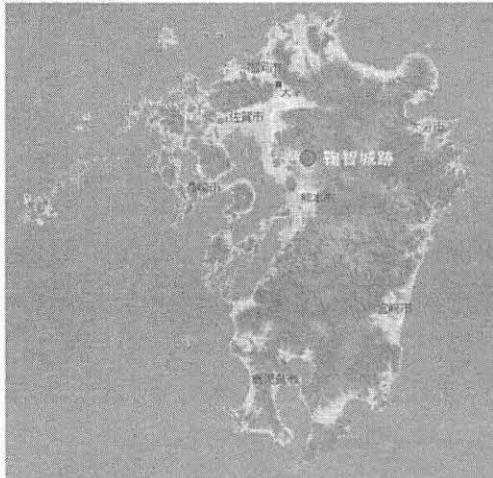
鞠智城とは

- ・7世紀後半(今から約1300年前)に大和朝廷によって築城された古代山城。
 - ・白村江の戦いにおける敗戦を契機として、西日本各地に作られた古代山城の一つ。(古代日本の防衛体制の一翼を担う。)
 - ・10世紀中頃までの約300年間存続し、その変遷は5期に分けられる。

古代山城の分布



鞠智城跡の位置





鞠智城跡全景(平成19年度撮影)

文献に見る鞠智城

六国史にみる鞠智城

*「国史体系」吉川弘文館

甲申。今二大宰府一繩。治大野。基肄。鞠智三城^ト。

(書き下し文)

〔甲申、大宰府をじて大野・基肄・鞠智の三城を縛り治めしむ。〕

〔日本紀〕文武天皇二(698)年五月二十五日条

丙辰。肥後国言。鞠智城院兵庫鼓自鳴。丁巳。又鳴。

(書き下し文)

〔丙辰、肥後国言す。鞠智城院の兵庫の鼓自ら鳴る。〕

〔丁巳、又鳴る。〕

〔日本文德天皇御經〕天安二(858)年二月二十四・二十五日条

肥後國鞠智城院の兵庫鼓自鳴。同城不動倉十一宇火。

(書き下し文)

〔肥後國鞠智城院の兵庫の鼓自ら鳴る。〕

〔同城不動倉十一宇火。〕

〔日本文德天皇御經〕天安二(858)年六月二十日条

肥後國鞠智城院兵庫戸自鳴。

(書き下し文)

〔肥後國鞠智城院の兵庫の戸自ら鳴る。〕

〔日本三代實錄〕元慶二(879)年三月十六日条



- ・城内の面積: 約55ha
周囲長: 約3.5km
- ・昭和42(1967)年から32次にわたる発掘調査を実施。
- ・72棟の建物跡、3ヶ所の城門跡、貯水池跡、土塁跡などの遺構を確認。



長者原地区完無状況(平成9年度撮影)



南側八角形建物跡



北側八角形建物跡



礎石建物跡(49号建物跡)



検出された石積み

城内



池ノ尾門跡

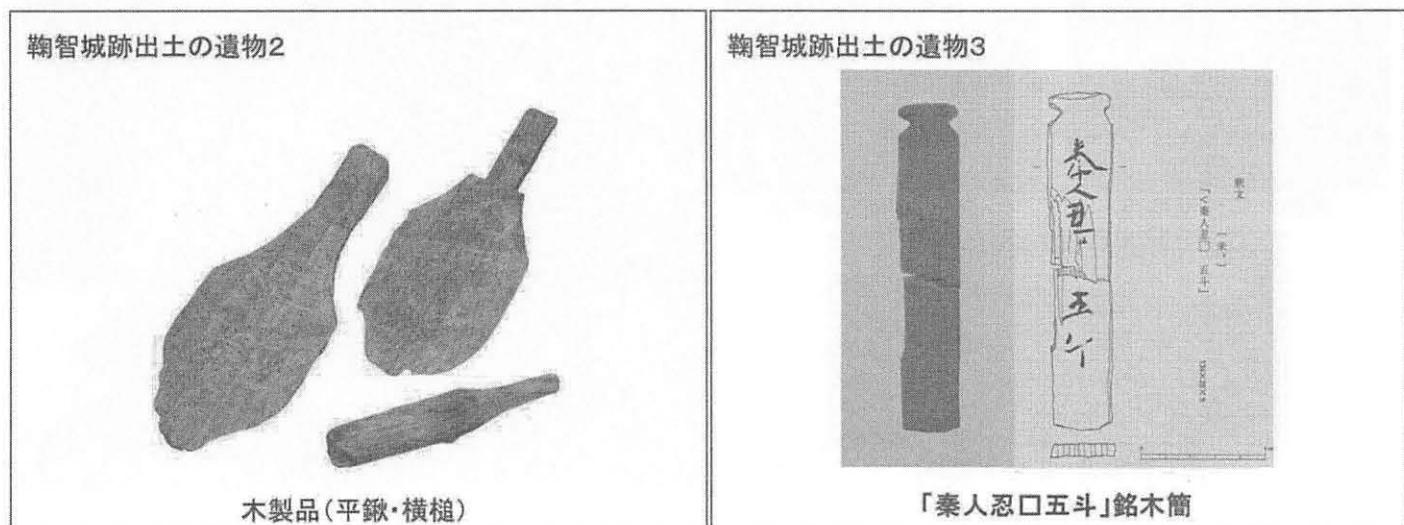
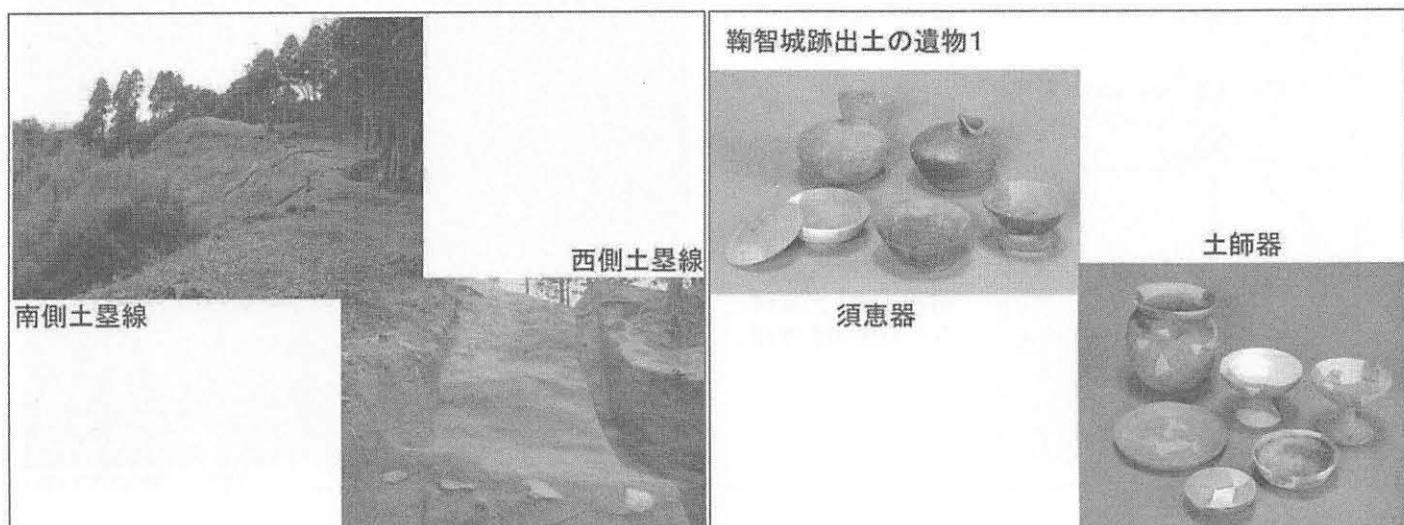
城外

門想定箇所

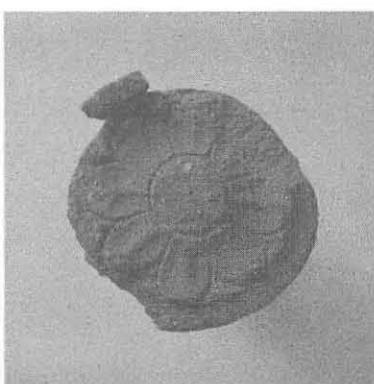
石壠部

取水口

通水溝

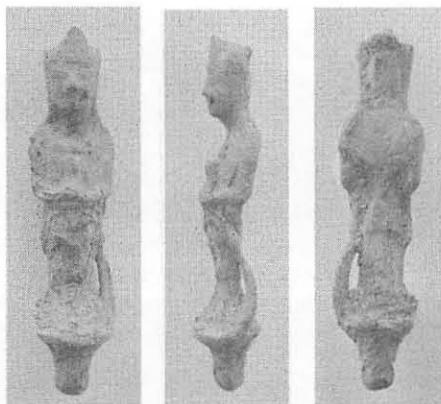


鞠智城跡出土の遺物4



单弁八葉蓮華文軒丸瓦

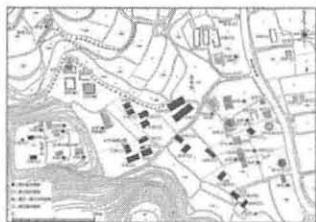
鞠智城跡出土の遺物5



百濟系銅造菩薩立像

鞠智城の変遷

鞠智城 I 期（7世紀第3四半期～第4四半期）



- ・鞠智城の創建期。
- ・掘立柱建物が築造。
- ・城門、貯水池、土塁を構築。
- ・古代山城としての最低限の機能が備わった時期。



南側土塁跡西端部・全景(東から)



貯水池跡・附木塙跡(南東から)



池ノ門跡・水門(東から)

鞠智城 II 期(7世紀末～8世紀第1四半期前半)



鞠智城 II 期の建物群

- ・八角形建物、「コ」の字形配置の建物群の出現。
- ・698年の繕治の時期



南側八角形建物跡(北から) 北側八角形建物跡(北西から)

鞠智城 III 期(8世紀第1四半期後半～8世紀第3四半期)



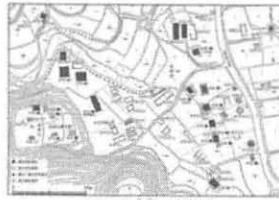
鞠智城 III 期の建物群

- ・礎石建物の出現
- ・出土土器の空白期



6号建物跡(南西から)

鞠智城 IV 期(8世紀第4四半期～9世紀第3四半期)



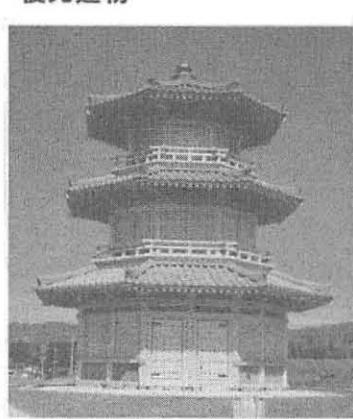
鞠智城 IV 期の建物群

- ・礎石建物の大型化
- ・食糧備蓄施設としての機能を持つ



20号建物跡(北から)

復元建物



八角形鼓樓



米倉

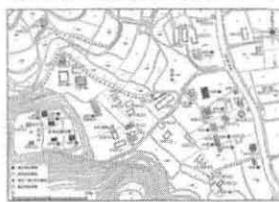


兵舍



板倉

鞠智城 V 期(9世紀第4四半期～10世紀第3四半期)

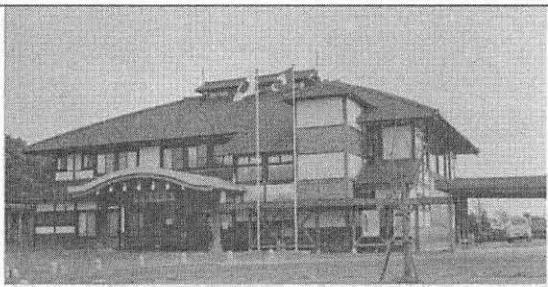


鞠智城 V 期の建物群

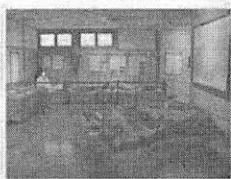
- ・建物の数が減少。
- ・倉庫としての機能が主体的



56号建物跡(東から)



ガイダンス施設 温故創生館(おんこそうせいかん)



温故創生館内 展示風景